

**Hughes
Hubbard
& Reed**

米国訴訟一 準備、防御及び 成功確率の最大化

AOS Webinar
2020年10月13日



米国訴訟 – 準備の重要性

- 米国におけるビジネス紛争は来年増加すると予想されている。
- 訴訟の可能性が発生した場合、準備が重要となる。
- 準備により、有利な条件での和解及び勝訴の可能性を高めることができる。

記録の保護

- 書面によるコミュニケーションは証拠となる。
- 誤った特徴付けを訂正しなければ、それに捕らわれるリスクがある。
- 謝罪をしない。



不利な証拠を作らない

- 社内文書及び社内メールは証拠開示手続の対象となる。
- 文脈から外れた抜粋を作成しない。
- 初期対応に注意する。

関連証拠の保全

- 関連する可能性のある証拠を保全する義務がある。
- 訴訟が合理的に予期される状況になり次第、保全通知を送付する。
- 証拠保存を怠った場合、深刻な制裁を受ける可能性があり、さらには敗訴にもつながり得る。

請求権及び抗弁の保全

- 時効及びその起算点を確認する。
- 契約による期間制限を忘れない。
- 補償条項には特に注意する。

法人格の区別の尊重

- 法人格の区別に注意する。
- 契約当事者は、前提条件の充足、通知の受領等を受けなければならない可能性がある。
- 資金の移動及び訴訟費用の負担を行う場合には慎重になる必要がある。

初期ケースアセスメント

- 必要な証拠を有しているか確認する。
- 勝訴に必要な書類を保管しているか。
- 文書及び出来事について個人的な知識を有している証人はいるか。

弁護士・依頼者間の秘匿特権及びワークプロダクト

- 弁護士・依頼者間の秘匿特権は依頼者と弁護士との間のコミュニケーションを保護する。
- ワークプロダクト法理は、訴訟を予期して作成された資料を保護する。
- 共通利益契約（ common interest agreements ） 又は共同防衛契約（ joint defense agreements ） の有効性には注意する必要がある。

開示を絶対に免れる証拠はない

- 和解のオファー及び交渉
- 弁護士・依頼者間の秘匿特権及びワークプロダクト
- 口頭で済むことは書面に残さない。ウィンクで済むことは言わない。

TOP SECRET

質疑応答



パートナー

+1 (212) 837-6872

seth.rothman@hugheshubbard.com

セス・D・ロスマン弁護士は、ヒューズ・ハバード&リードの訴訟パートナーであり、複雑な商業訴訟、仲裁、製造物責任及び集団訴訟（不法行為）を専門としています。ロスマン弁護士は30年に渡り、米国内の様々な裁判所、仲裁、その他の紛争解決機関において依頼者を代理してきました。ロスマン弁護士は弊所のアジア太平洋プラクティスグループの共同代表者であり、米国訴訟及び国際仲裁において日本企業を代理した極めて豊富な経験を有しています。



カウンセル

+81-3-6272-5831

paul.marston@hugheshubbard.com

ポール・マーストン弁護士は、ヒューズ・ハバード&リード東京オフィスの代表であり、訴訟、仲裁及び取引案件に従事しています。マーストン弁護士は日系大手商社の子会社で企業内弁護士として勤務した経験があり、その際、メキシコ湾で発生したマコンド坑井原油流出事故に関連した複雑な訴訟を担当しました。同弁護士は日本語で読書き及び会話を流暢に行うことができます。



アソシエイト

+1 (212) 837-6106

shigeki.obi@hugheshubbard.com

小尾重樹弁護士はヒューズ・ハバード&リード・ニューヨークオフィスのアソシエイトであり、弊所のアジア太平洋プラクティスグループのメンバーとして、訴訟及び仲裁案件において日本企業を代理しています。小尾弁護士は日本人であり、日本及びニューヨークの弁護士資格を有しています。また、同弁護士は近時、7億ドル規模の国際仲裁案件において日本の電力会社を成功に導きました。

弁護士広告

- 読者の皆様は弊所の実績が必ずしも類似の結果を保証するものではないことにご留意ください。また、本広告はニュージャージー州の最高裁判所により承認されたものではありません。